



2020年 4月19日

## <事務局から>

豊実では、今が盛りと桜が咲き誇っているようです。それにしても、春爛漫とは程遠い閉塞感が日本中に広がっていますが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか？

国内初の新型コロナウイルス感染者が出たのは1月15日、感染者が100人を超えたのは2月22日で、一か月後の3月22日には1千人を超えています。

そんななか、3月28日から29日に豊実では恒例の味噌づくりが行われました。週末の外出は控えるようにと自粛要請は出ていましたが、東京ブロックから6名が参加しました。

我々は同時にそこで、第2回国際アートフェスタの第一会場となる朴木坂（ほうのきざか）へ向かい、5/18日の開催を目指して準備の進む現場を下見しました。出向いた総勢10名は「よくもまあ、こんなところで米づくりをしたものだ」と先人たちの自然との取り組みに感心したものです。

その後、緊急事態宣言が7都道府県に出されたのは4月7日のことです。感染者数は現在（4/18）1万人を超えたといわれています。この驚異的な数字には、愕然としてしまいます。

ここに来て政府は急きょ、緊急事態宣言を全国に広げています。しかし、大型連休明け以降に感染拡大が沈静化される保証はありません。「外出を自粛し、人との接触を最小限にとどめる」ことが、今我われができる最善の対処法のようなのです。

ともかく、皆さんも極力危険を避けて、健康維持に努めて下さいますようお願いいたします。

尚、5/17日の通常総会につきましても開催予定ですが、開催については特例を考案しております（同封の通知をご覧ください）。ご理解、ご協力をお願いいたします。

（森絃一）

## <直近のイベント予定> -----

○2020年度通常総会：5月17日（日）13：00～ 和彩館

○第2回奥阿賀国際アートフェスタ 会期：5/18（月）～6/28（日）

\*ワークショップ：5/18（月）13：00～ 第1会場&第2会場

\*トークショー：6/28（日）14：00～ 第1会場

2020. 4. 20

第2回奥阿賀国際アートフェスタにむけて

佐藤賢太郎

既にアートフェスタについてはホームページに何度も書いていますが、明日（4/21）新潟日報の記者が取材に来ます。新型コロナウイルスの感染拡大を止めるため、公共イベントはすべて中止されています。記者は半信半疑で、「本当に実施するのですか？」ということかもしれません。私はやります。足は少々痛いのですが、毎日フェスタの会場に通っています。

森林に囲まれたフェスタの会場は、自然が一目で感じられる場所、水の出るところ、昔の人はこんなところまで田んぼにしていたのです。先人たちの田んぼの再現です。そして世界の人びとをアートで結ぼうという企画です。本国に帰れなくなるのを心配して、帰った方もいました。

日本に滞在している外国人が5人も来たいというのに、私たちは5月6日まで仕方なく、すべて断りました。なぜこんなときできるのか。自然環境が第一です。そしていうまでもなく、第2回アートフェスタの準備を早くからはじめていたので実施できるのです。

味噌づくりに来られた方は既に見ていますが、もっと変わりました。今、会場はどこからも見えませんが、桃源の湯からも、道路からも少し見えるようにします。

こんなときだからこそ、できれば皆さんに見ていただきたいのです。私は開催日までに、もっと手を入れるつもりです。

